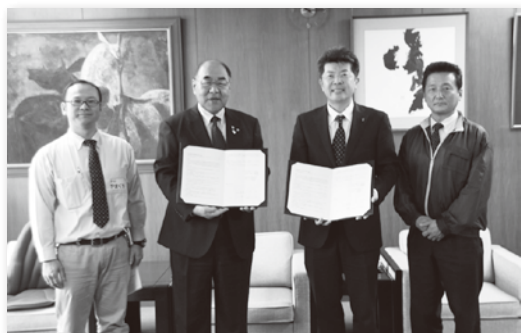


災害時の救助物資に関する準備を

株式会社フィール幸田店と「災害救助物資の緊急調達等に関する協定」を締結

10/30



▲協定締結の調印式にて

10月30日、株式会社フィール幸田店と「災害救助物資の緊急調達等に関する協定」を締結しました。

この協定は、幸田町に地震や風水害による災害が発生した場合、被災者に対し、店舗に常備されている食料や日用品を優先的に確保していただける内容です。

この協定で、食料品や日用品等を保有する町内の店舗と12店舗目の締結となります。今後も町内店舗と協働して、地域防災力の向上に努めていきます。

祝40周年！

幸田文化協会創立40周年記念 秋の文化祭

10/31,11/1

秋の文化の祭典、幸田文化協会の文化祭が町民会館各ホールと図書館ギャラリーで開催されました。

今年40周年を迎えた幸田文化協会。文化祭の開催にともない創立40周年記念式典が行われました。さくらホールとつばきホールで加盟団体による芸能発表会が行われたほか、あじさいホールや図書館ギャラリーなどでは作品の展示が行われ、約2,800人が訪れて鑑賞を楽しみました。



▲創立40周年記念式典の様子



▲あじさいホールでの作品展示

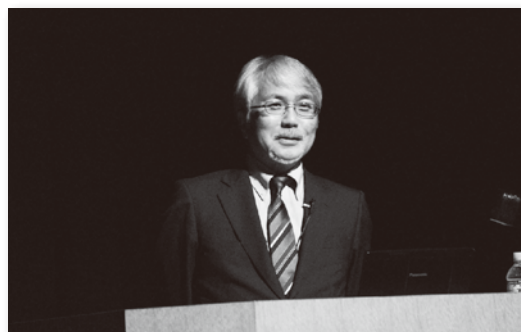
新たな素材の開発がものづくりを変える

第8回幸田プレステージレクチャーズ

11/6

幸田町民会館つばきホールにて、第8回幸田プレステージレクチャーズ～ものづくり日本講演会～が開催され、一般参加者のほか、企業や大学、研究機関などから約270人の参加がありました。今回は、熊本大学の河村能人教授^{かわむらよしひと}を講師に迎えて、軽くて強く燃えにくいKUMADA I マグネシウム合金の開発経緯と、世界的に注目される革新的な開発がもたらすマグネシウム新時代について講演していただきました。

マグネシウムは燃えやすく、扱いが困難な金属でしたが、KUMADA I マグネシウム合金の特性が、航空機などへの利用を可能にするなど、ものづくり産業の未来、可能性を拓けるとのことでした。



▲講師の河村教授

まちがと

身近な情報を広報へ

まちに緑を増やそう！

あいち森と緑づくり事業 11/11・15

幸田岩堀土地区画整理事業地内を会場に緑化活動を行い、11月11日に幸田中学校1年生197人が参加して植樹祭を開催、11月15日には(株)デンソー幸田製作所と幸田町共催により「幸田グリーンフェス in 岩堀」を開催し、デンソー社員や中央小学校児童ら約200人が参加しました。新しくできる2つの公園と調整池の周りに、シャリンバイやフイリヤブランなど7種類の植物約1,500株を植えました。参加者は、自分が植えた木などの育成を楽しみにしていました。



▲幸中生による植樹の様子



▲幸田グリーンフェス in 岩堀の参加者

火の用心！！

防火パレード 11/15

秋の全国火災予防運動の一環として、防火パレードが実施されました。空気が乾燥する季節に向けて防火意識を高めてもらえるように、小学生が消防団車両から「火の取扱いに注意しましょう！」と精一杯呼びかけました。



▲参加者全員で記念の一枚



▲消防団車両でパレードに出発！

火災を想定した出動訓練を実施

消防団出動訓練 11/15

新田住民広場で消防団出動訓練が実施されました。消防団員たちは、実際の火災時と同じ気持ちで真剣に訓練に取り組み、安全確実な活動と消防署との連携方法を再確認しました。



▲図面で車両の配置と送水ルートの確認



▲火点に向けて放水訓練を実施

まちがとフォトニュース

広報直通ダイヤル(63)5132
FAX(63)5139
E-mail:kikakujohto@town.kota.lg.jp

無料配布に大行列！

こうた産業まつり・健康福祉まつり・消防ひろば

11/22

ハッピネス・ヒル・幸田で、こうた産業まつり・健康福祉まつり・消防ひろばが開催されました。農産物の品評会・即売会や千人鍋（豚汁）、卵やおにぎりなどの無料配布、健康体操や血圧・骨密度などの各種測定、子ども消防服試着や煙体験などが行われ、約25,000人の来場がありました。



農産物の品評会



千人鍋（豚汁）の無料配布



来場者でにぎわう会場



健康チェックの様子



ステージイベント（中央小三河万歳クラブ）

おめでとうございます

幸田町社会福祉大会

11/26

町民会館つばきホールで、平成27年度幸田町社会福祉大会が開催されました。社会福祉の発展に貢献された皆さんの顕彰や、白寿(5人)・米寿(134人)・ダイヤモンド婚(22組)・金婚(41組)を迎えられた皆さんのお祝いがされました。また、^{たかはしもえか}深溝小4年の高橋萌花さんが「将来は社会福祉士になりたい」と題して体験発表を行いました。



▲手話を交えて体験発表をする高橋さん



▲祝品贈呈の様子

身近な情報を広報へ

2次避難場所への避難を実施

北部中 避難訓練 11/17

北部中学校が全生徒 431 人を対象とした避難訓練を実施しました。緊急地震速報の合図で一時避難として運動場へ避難。その後、運動場が液状化したと想定し、2次避難場所の幸田高校運動場へ避難を行いました。大地震を想定し、生徒を安全かつ迅速に避難させること、また、生徒と教師の防災意識の高揚をはかることを目的として実施されました。



▲まずは机の下で揺れがおさまるのを待つ

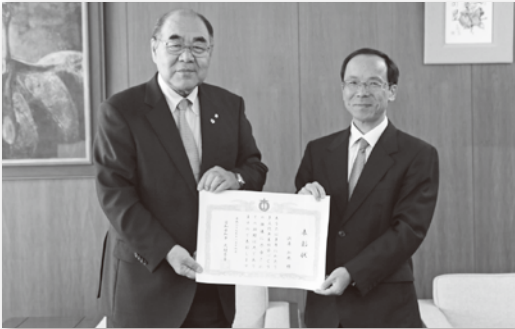


▲2次避難場所の幸田高校へ集団で移動

国際交流の懸け橋として

愛知県多文化共生校推進功労者表彰 受賞報告 12/2

幸田町国際交流協会の^{はまはらひろや}浜原弘也さん（大草在住）が平成 27 年 11 月 14 日に名古屋市にて開催された多文化共生フォーラムあいち 2015 において、愛知県知事より「愛知県多文化共生推進功労者表彰」を受賞されました。



▲受賞の報告に訪れた浜原さん

浜原弘也氏は、14年にわたりボランティアとして町内に在住・在勤の外国人に対する日本語習得を支援してきました。また、外国人とともにイベントに参加するなど地域での多文化共生の土台作りにも励んでおり、それらの功績が認められ今回の受賞につながりました。

「アスファルト ぎりぎりに咲く ひがん花」

平成 27 年度一茶まつり 全国小中学生俳句大会 入賞報告会 12/2



▲受賞の報告に訪れた浦山さん（中央）

江戸時代の俳人、小林一茶をたたえる一茶まつり全国小中学生俳句大会で、北部中学校 1 年の浦山^{つらやまひな}妃菜さんが応募総数 44,519 句の中学生の部で、第 5 位に相当する足立区教育委員会賞を受賞しました。受賞作は「アスファルト ぎりぎりに咲く ひがん花」です。自宅の近所をランニング中に、アスファルトの切れ目に 1 本だけ咲いていた彼岸花の姿が印象に残っていて、それを表現したそうです。

フ
オ
ト
ニ
ュ
ー
ス

広報直通ダイヤル(63) 5132
FAX(63) 5139
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp